



2011年 2月 3日

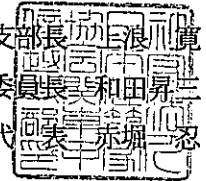
日本大学総長 酒井健夫 様

社団法人 日本建築家協会 (JIA)

関東甲信越支部 支部長 坂本 隆 寛

同 保存問題委員会 委員 奥 和田 昇 三

同 千代田地域会 代 表 赤 堀 忠 忍



## 旧お茶の水スクエアA館の保存・活用に関する要望書

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

貴大学がこれまで、建築文化の継承・発展に多大なる貢献をされ、また我が国建築界を代表する幾多の人材を輩出して来られたことに、深く敬意を表します。

さて、貴大学が千代田区駿河台に所有する旧お茶の水スクエアA館については、お茶の水キャンパスの整備計画に伴い、当面の間近隣部科校の校舎建替え時の代替施設として利用するなどの活用を、また昨年閉館されたカザルスホールについても、その芸術・文化的価値に鑑みて移転等を含め検討されている由、当協会千代田地域会の問い合わせへのご回答として伺っております。

ご高承のように、旧主婦の友社本館は、創業者である石川武美氏による婦人文化事業推進のための拠点として、1925年(大正14)にW・Mヴォーリズの設計で建てられました。本館建設時の文化性と永く親しまれた歴史的価値を受け継ぐために、血の滲むような復元保存の努力がなされ、そこにオフィス棟と我が国最初の室内楽専用ホールが加えられて、旧お茶の水スクエアA館は1987年(昭和62)に完成しました。様々な空間が巧みに構築され、現代建築としての機能性と芸術性が発揮された優れた建築です。設計者は、大分県立大分図書館や群馬県立近代美術館で建築学会賞を受賞し、ロサンゼルス現代美術館など海外でも評価の高い世界的建築家 磯崎新氏です。

カザルス夫人よりその名を冠する事を許された室内楽専用ホール、すなわちカザルスホールは、その街区の奥に配置され、前面道路からエントランス・ホワイエ・ホールと、コンサートへ向う人々の気持を高揚へと導く素晴らしい空間構成がなされています。更に、その命とも言えるホールの音響と音楽空間においては、後に設置されたアーレント作のパイプオルガンとも相まって、専門家、演奏家、ホールに足を運んだ数多くの音楽愛好家から絶大なる評価と信頼を獲得し、我が国室内楽の殿堂ともいえる存在となっています。また、旧主婦の友社本館は、大学・出版の街 神田駿河台にあって、学生をはじめ、通りを行き交う多くの人々に愛され親しまれ、地域の景観に欠くべからざる存在となっています。

2003年(平成15)千代田区が、旧お茶の水スクエアA館を千代田区景観まちづくり重要物件に指定したことは、そのような評価をより確実なものにしたと考えております。

この旧お茶の水スクエアA館がもつ歴史的・文化的・建築的な価値を受け継ぎ、お茶の水キャンパス計画の中に於いて未永く未来に伝えることは、貴大学の豊富な人材をもってすれば決して困難なことではなく、むしろ貴大学のご発展にも寄与するものと考えます。この類い稀なる建築を積極的に保存・活用して頂きますようご高配を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

なお、私たち社団法人日本建築家協会関東甲信越支部、同 保存問題委員会、及び 同 千代田地域会は、上記実現のため出来る限りご協力させていただくことを申し添えます。

社団法人 日本建築家協会  
The Japan Institute of Architects  
関東・甲信越支部  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA 館  
Tel.03-3408-8291 Fax.03-3408-8294

敬具